

平成 26 年度グループ研修報告 －3D プリンター運用技術について－

機械・環境建設系技術班 渡部 正康

主 催：国立大学法人愛媛大学
研修期間：平成 27 年 2 月 9 日（月）
研修会場：愛媛大学工学部等技術部室

1. 研修目的

教育・研究支援として 3D プリンター造形手法を提案し得る環境の下地作りとして、造形物の性能や作業の流れについて把握する。

2. 研修内容

- ・製作事例の展示と、部材種類およびその特性、失敗例など知見の紹介
- ・プラスチック積層造形方式 3D プリンター「3D Systems 社 Cube」が立体印刷する様子の観察
- ・立体印刷に係る前準備・後処理の作業体験
- ・付属ソフトウェアを用いたデータ作成・変換手法についての演示・操作
- ・3D プリンター造形による教育・研究の支援に関する検討や学内の運用状況に関する情報交換

3. 研修報告

2 月 9 日 13 時 30 分から 15 時 30 分まで、技術部室において 3D プリンターの運用に関するグループ研修を行った。出席者の日常業務における「ものづくり」への関わりを反映し、積極的な体験作業への参加が行われた。また、各々の実務環境から習得した知見を活用し、活発な意見交換を行うことができた。

将来的には、教育・研究分野への支援策として、実験機器の部品が破損した際などに、実験を中断しなくて済むよう、その代替部品を応急的に作製し提供し得るような環境を形成したいと考えている。

謝辞：本グループ研修を実施するにあたり、ご尽力いただきました関係各位に感謝申し上げます。



写真－1 3D プリンタの造形動作を観察



写真－2 造形後の取り外し作業を体験